

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード	212	施策	防災力・減災力の向上
管理事業	防災対策事業	1	枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 災害時救急医療器具等整備事業等補助事業	危機管理室	災害時に吹田市医師会が実施する救急医療に必要な医療器具等の整備に対して、交付要領に基づき補助を行い、地域防災力の向上を図る。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	災害時の救急医療に必要な器具等を医師会で選定し、確保することにより、災害時の応急医療体制の整備に寄与している。災害時には医療救護所などで医療救護活動を行う医師等を派遣してもらえるよう医師会と協定を締結している。	継続
(千円)			
602			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 防災ハンドブックの作成・改訂事業	危機管理室	多世代にも分かりやすい内容として、これまでの防災ハンドブックのビギナー版として防災ブックを作成し、全戸配布する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	全戸配布は令和元年秋頃を予定しているが、作成した防災ブックを読んでいただけるように配布方法などを工夫したり、効果的な啓発が行えるような仕掛けづくりが課題である。	継続
(千円)			
13,445			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 防災リーダー育成事業	危機管理室	地域防災力の向上を図るため、地域防災の担い手として地域防災リーダーを育成する。併せて、地域防災リーダーに対する継続的な講習を行う。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	地域防災リーダーの育成については、今後、育成できていない地区を重点的に育成推進するとともに、地域防災リーダーに対してもフォローアップやレベルアップ講習を継続して行い、地域防災力の向上に努める必要がある。	継続
(千円)			
86			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 防災用資機材給付事業	危機管理室	地域における自主防災力向上を図るため、連合自治会、単一自治会等で結成された自主防災組織へ防災用資機材を給付する。	市が独自に実施している事務
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	自主防災組織の結成、活動を促進する目的で、結成した組織に対して救助用資機材の給付を行っているが、先着順の申請のため、申請に応じて予算を消費していく事業の特性上、事業の進捗は遅れがちである。今後、効率よく多くの自主防災組織に救助用資機材を給付できるよう事業体制の整理、検討が必要である。	継続
(千円)			
1,195			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑤			
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■		
(千円)			

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
⑥			
決算額(事業費)	評価の視点	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性
平成 30 年度	☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■		
(千円)			

上記以外の予算事業

※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課